

あなたは に何をいれますか？

すべての子どもに、 を。

— わたしたちの持続可能な未来のために —

気候変動が世界中でさまざまな災害や環境の変化を引き起こしています。気候変動の影響を最も受けるのは、脆弱な地域に暮らす子どもたちです。気候変動は非常に不公平なもので、原因となる温室効果ガス(CO₂)の排出量が多い国よりも少ない国のほうが、深刻な影響を受けています。気候・環境汚染の脆弱性が最も高い33カ国の合計CO₂排出量は、世界の排出量のわずか9%にすぎません。*



いま、世界の子どもたちはどんな課題に直面しているのでしょうか？

そして、わたしたちにできることは何でしょうか？ぜひ、ユニセフと一緒に考えてください。

河川の洪水の危険が高い地域で暮らす 子どもは世界に3億3000万人



東アフリカの国 ブルンジ

©UNICEF/UN0436094/Prinsloo

ブルンジ西部では、1年間で5万人以上が洪水による被害を受け、多くの人が国内避難民になりました。子どもたちの遊び場も、水浸しになってしまいました。洪水によって衛生環境が悪くなることで、さまざまな病気の流行も心配されます。

地球温暖化 — とける海水



アメリカ最北端の州 アラスカ

©UNICEF/UN0445445/Sokhin

先住民民族イヌピートのアマイアさん(11歳)が暮らすアラスカの北極海沿岸では、地球温暖化によって海水が急速にとけ、氷の上で暮らしていた動物たちがすみかを追われています。狩りをして暮らすアマイアさんたちの生活やその地域の生態系にも大きな影響がでています。

相次ぐ自然災害



東南アジアの国 フィリピン

©UNICEF/UN0570018/Hogsholt

2021年12月、大型台風がフィリピンを襲い、グウェンドリンちゃん(2歳)の家も壊れてしまいました。ユニセフは、被災者を支援するため、水をきれいにする浄水剤や、災害時に使えるトイレなどの支援物資をすぐに届けました。

紛争と自然災害 — 二重の被害



中東の国 シリア

©UNICEF/UN0405690/Akacha

シリアでは2011年に始まった紛争が今も続いています。2021年1月、紛争から逃れてきた人々が暮らす地域で豪雨が一週間続き、難民キャンプはあっという間に水浸しになってしまいました。紛争前のシリアは豊かで安定した国でしたが、子どもたちは10年以上不安定な暮らしを強いられています。

行動する子どもたち

気候変動の危機に立ち向かうために、多くの子どもや若者が行動を起こしています。



南アジアの国 バングラデシュ

ポリシャルの街に200人の若者たちが集い、「気候変動を止めよう」「地球を守ろう」と声を上げました。

©UNICEF/UN0540748/Mawa



中部アフリカの国 コンゴ民主共和国

11月20日の「世界子どもの日」に、気候変動や環境の悪化から未来の世代を守ろうと呼びかけるイベントが開かれ、子どもたちによる記念の植樹が行われました。

©UNICEF/UN0370154/Wenga



東アジアの国 日本

東京都の立川市立立川第七中学校の生徒たちは、「世界の厳しい環境に暮らす子どもたちのために、自分たちにできることを」と2005年から街頭募金活動を続けています。

©日本ユニセフ協会

持続可能な未来のために、いま、行動しよう！

